

自分ですすめる『学びの一歩』

中2社会『日本の地域的特色』1節 自然環境の特色(教科書 P.132~149) 名前()

「自然環境から見て、日本はどのような特色があるのだろう?」目標:日本の自然環境に関する特色をさぐり、整理してまとめることができる。

ステップ1(学習の進め方)

- ・学習前に、自然環境から見た日本の特色について、思いつくことを書き出そう。
- ・教科書132~134ページと地図帳9ページをもとに、日本の地形の面から見た特色を見つける。

❶ 地図から日本を見つけ、どんなマークが多いか、どんな色で示されているのかを読み取ってみよう!

☆地図帳P139~140の地図から、さらに地形から見た特色をさぐろう!

⌚ キーワード 「造山帯」

⌚ キーワード 「フォッサマグナ」

❷ 教科書 P.134 上段のさくらさんの吹き出しに着目しよう!

- ・教科書 135 ページから地形の中でも海の面から見た特色をさぐり出そう。

⌚ キーワード 「リアス海岸」「砂浜海岸」「大陸棚」「暖流・寒流」

ステップ2 (自分でやってみよう)

<自然環境(地形・自然・気候など)から見た特色> ・小学校での学習も思い出そう!

1. 教科書P133⑤「世界のプレートとおもな火山・地震の分布」から日本の特色を読み取り、気付いたことを書き出そう。
技
2. 「造山帯」とは何だろう? 2つの造山帯の名前とその意味を調べて書き出そう。
技
3. 教科書 P.134①の写真、②の地図、③の図から、さらに日本の地形から見た特色を読み取り、気付いたことを書き出そう。
技
4. さくらさんの質問「日本の東と西の山の並び方の違い」について読み取ろう。
技
☆日本の東側の山の並び方→()
☆ 西側の山の並び方→()
☆東と西の境目にあるものは?()← どんなものか調べよう。
知
5. 日本地図上でおもな山地・山脈の位置と名前が答えられるようになろう。
また、日本アルプスの位置と山脈名も確かめておこう。
知

(例)

・日本アルプスとは、(飛騨)山脈(木曽)山脈(赤石)山脈の総称。

6. 日本の海から見た特色にはどのようなものがあるのか、教科書で調べよう。
知
①日本の海岸の特色
- ②日本を取りまく海の特色

<調べてわからなかったこと>

ステップ1(学習の進め方)

・教科書136～137ページと地図帳139～140ページから、地形の中でも川から見た日本の特色について確かめよう。

⑥教科書P137⑥,地図帳P139①から見つけ出そう。

⑥本文中からだけでなく、写真資料や資料活用で示された視点にも着目してそれぞれの地形について読み取ろう。

☆日本地図上でおもな川と平野の位置と名前を確かめておこう！

・次に気候の面から見た特色を教科書142～143ページと地図帳141～142ページからさぐり出そう。

⑥自分が考える特色や教科書・地図帳もヒントに書き出してみよう！

⑥日本地図に気候を色分けして区分を示したり、雨温図や地図帳の様々な資料を活用して地域による気候の違いを読み取り、必要な情報をノートに整理していくとよいでしょう。

ステップ2（自分でやってみよう）

7. 教科書 P.136④「大陸にある川と日本の川の比較」から、日本の川にはどのような特色があるのかを読み取り、気付いたことを書き出そう。 技

8. 川の上流から下流にみられる地形を書き出してみよう。 技

9. 次の①～③の地形は、どんな地形か、どのように利用されているかを調べよう。

①三角州

②扇状地

③台地

10. 日本の気候帯にあてはまるものに○をしよう。(1年生の世界の気候帯を思い出そう)

☆日本の気候は、[熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯(冷帯)・寒帯]にあてはまる。

11. 「日本の気候には、どのような特色があるのか？」書き出してみよう。

12. 「日本の気候は、地域によってどのような違いがあるのか？」調べてみよう。 技

☆北海道(紫)

☆日本海側(薄紫)

☆太平洋側(緑)

☆内陸(黄)

☆瀬戸内(オレンジ)

☆南西諸島(赤)

ステップ3（学びを生かしてチャレンジ！）

13. 「どうして、日本の気候は地域によって違うのだろう？」その理由を考えみよう。

思

ステップ4（自然環境から見た日本の特色をもとに、さらに学ぼう！）

14. ここまで学習で収集した「自然環境から見た日本の特色」についての情報を整理しよう。

思

☆地形から見た特色

・山から見た特色

・海から見た特色

・川から見た特色

☆気候から見た特色

15. 「自然環境から見て、日本はどのような特色があるのだろう？」日本の特色を自分なりの言葉でまとめよう。

知

ジャンプ（さらに学習を進められる人は、発展課題にチャレンジ！）

<発展課題>

- 1)「どうして日本には地震が多いのだろうか？」教科書 P.133, 145, 地図帳 P.143 などからさぐってみよう。
- 2)京都市防災マップ、ハザードマップ（地震・水害・土砂災害）を入手して、自分が住む地域の情報を読み取り、防災や減災について考えよう。（参考：教科書 P.148～149）
- 3)P.138～141 「技能をみがく 18～20」地形図の使い方①～③の「やってみよう」で復習しよう。
＊このワークシートでは紙面の関係上、調べたことを書くスペースが小さかったり、日本地図などが示されていないため、地図やノートを活用しながら学習を進めていくようにしましょう。

16.「日本で発生する自然災害には、どのようなものがあるのだろう？」

①思いつく自然災害を書き出してみよう。

②他にもどのような自然災害が起こっているのかを教科書 P.144～145から調べて書き足しましょう。

17.「これらの自然災害は、日本の地形や気候とどのように関係しているのでしょうか？」

上の 14 や 15 で整理した「日本の自然環境から見た特色」について、それぞれの特色と関係すると考えられる自然災害の名を枠の中に書いてみよう。

18.「日本では、自然災害を防いだり、被害を少なくするためにどのような工夫をしているのでしょうか？」

教科書 P.146～147 でさぐってみよう。

19.自助・公助・共助について調べ、災害への対応として必要だと考えることは何か、自分なりの考えを書こう。

